

令和元年度

富山県東部消防組合一般会計
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

令和2年6月30日

富山県東部消防組合
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合
監査委員 水 野 勝 行

監査委員 森 弘 秋

令和元年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された令和元年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

令和元年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

令和元年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書

(2) 付属書類

令和元年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

令和元年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

令和元年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期日と場所

期 日 令和2年6月30日

場 所 富山県東部消防組合消防本部 2階会議室

3 審査の方法

審査は、令和元年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算の概要

令和元年度の一般会計の決算額は、予算総額1,278,344,000円に対し、歳入1,277,460,367円（予算対比99.9%）、歳出1,237,813,920円（予算対比96.8%）であり、差引形式収支額は39,646,447円である。前年度決算額と比較して歳入で21,914,734円の増、歳出で23,479,903円の増となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は39,646,447円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支39,646,447円の黒字となった。

なお、当年度実質収支39,646,447円から前年度実質収支41,211,616円を差し引いた当年度の単年度収支は1,565,169円の赤字となっている。

決 算 収 支 状 況

(単位:円)

年 度	会 計	歳 入 A	歳 出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
元	一般	1,277,460,367	1,237,813,920	39,646,447	0	39,646,447	41,211,616	△ 1,565,169
	計	1,277,460,367	1,237,813,920	39,646,447	0	39,646,447	41,211,616	△ 1,565,169
30	一般	1,255,545,633	1,214,334,017	41,211,616	0	41,211,616	36,063,061	5,148,555
	計	1,255,545,633	1,214,334,017	41,211,616	0	41,211,616	36,063,061	5,148,555
増 減	一般	21,914,734	23,479,903	△ 1,565,169	0	△ 1,565,169	5,148,555	△ 6,713,724
	計	21,914,734	23,479,903	△ 1,565,169	0	△ 1,565,169	5,148,555	△ 6,713,724

なお、令和元年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
消防ネットワークシステム更新	リース期間終了に伴い、各システムの改修及び再更新を行った。
本部事務連絡用車両の購入	購入後 13 年が経過し、老朽化により修繕費が嵩んでいる本部車両（東部広報 1）を更新した。
高機能消防指令センター通信指令装置部分更新事業	現在運用している情報系機器の更新を行った。
高機能消防指令センター通信指令装置部分更新事業に伴う実施設計・施工監理業務委託事業	高機能消防指令センター通信指令装置部分更新に伴う実施設計及び監理業務を行った。

6 一般会計

令和元年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入 1,277,460,367円（予算対比 99.9%）

歳出 1,237,813,920円（予算対比 96.8%）

この差引残額（形式収支）39,646,447円から、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支39,646,447円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支39,646,447円から前年度実質収支41,211,616円を差し引いた当年度の単年度収支は1,565,169円の赤字となっている。

（1）歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
元年度	1,278,344,000	1,277,460,367	1,277,460,367	0	0	99.9%	100.0%
30年度	1,255,657,000	1,255,545,633	1,255,545,633	0	0	100.0%	100.0%

① 収入状況

予算額に対する収入割合は99.9%であり、前年度収入済額と比較して21,914,734円の増となっている。

収入の内訳は、分担金及び負担金で、収入額は1,165,100,384円で全体の91.2%を占めている。以下、使用料及び手数料が1,514,350円で0.1%、県支出金が7,526,827円で0.6%、繰越金が41,211,616円で3.2%、諸収入が907,190円で0.1%、組合債が61,200,000円で4.8%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収 入 状 況

（単位：円）

区 分	予算額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損 額	収入 未済 額
			金 額	構成比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及 び負担金	1,165,101,000	1,165,100,384	1,165,100,384	91.2	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及 び手数料	1,312,000	1,514,350	1,514,350	0.1	115.4	100.0	0	0
3. 県支出金	7,621,000	7,526,827	7,526,827	0.6	98.8	100.0	0	0
4. 繰越金	41,212,000	41,211,616	41,211,616	3.2	100.0	100.0	0	0
5. 諸収入	198,000	907,190	907,190	0.1	458.2	100.0	0	0
6. 組合債	62,900,000	61,200,000	61,200,000	4.8	97.3	100.0	0	0
計	1,278,344,000	1,277,460,367	1,277,460,367	100.0	99.9	100.0	0	0

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金、組合債からなる依存財源に分類してみると、自主財源は43,633,156円、依存財源は1,233,827,211円となっており、その構成比は、自主財源3.4%、依存財源96.6%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源94.5%、特定財源5.5%となっている。

第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
元年度	1,165,101,000	1,165,100,384	1,165,100,384	0	0	100.0%	100.0%
30年度	1,176,057,000	1,176,056,939	1,176,056,939	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は1,165,100,384円で、歳入総額に占める割合は全体の91.2%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市503,445,790円、滑川市349,731,569円、上市町269,534,659円、舟橋村42,388,366円となっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
元年度	1,312,000	1,514,350	1,514,350	0	0	115.4%	100.0%
30年度	1,212,000	2,039,250	2,039,250	0	0	168.3%	100.0%

収入済額は1,514,350円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分429,500円、滑川市分944,100円、上市町分138,050円、防火管理講習修了証再交付手数料等2,700円となっている。

第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
元年度	7,621,000	7,526,827	7,526,827	0	0	98.8%	100.0%
30年度	7,121,000	7,363,493	7,363,493	0	0	103.4%	100.0%

収入済額は7,526,827円で、歳入総額に占める割合は全体の0.6%となっており、収入済額の内訳は、消防防災航空隊員派遣等人件費負担金6,405,827円、消防防災航空隊員派遣助成金1,121,000円となっている。

第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
元年度	41,212,000	41,211,616	41,211,616	0	0	100.0%	100.0%
30年度	36,064,000	36,063,061	36,063,061	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は41,211,616円で、歳入総額に占める割合は全体の3.2%となっており、収入済額の内訳は、平成30年度繰越金となっている。

第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
元年度	198,000	907,190	907,190	0	0	458.2%	100.0%
30年度	203,000	422,890	422,890	0	0	208.3%	100.0%

収入済額は907,190円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、共済事務等手数料98,831円、講習会場提供謝礼60,000円、気象観測謝礼32,120円、その他716,239円となっている。

第6款 組合債

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
元年度	62,900,000	61,200,000	61,200,000	0	0	97.3%	100.0%
30年度	35,000,000	33,600,000	33,600,000	0	0	96.0%	100.0%

収入済額は61,200,000円で、歳入総額に占める割合は全体の4.8%となっており、収入済額の内訳は、高機能消防指令センター通信指令装置部分更新事業（防災対策事業債）61,200,000円となっている。

(2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元年度	1,278,344,000	1,237,813,920	0	40,530,080	96.8%
30年度	1,255,657,000	1,214,334,017	0	41,322,983	96.7%

① 支出状況

予算額に対する執行率は96.8%であり、前年度支出済額と比較して23,479,903円の増となっている。

イ 支出の内訳

組合議会費767,674円、組合運営費137,176円、監査委員費48,830円、職員給与費883,406,475円、消防本部運営費84,105,795円、魚津署運営費22,170,726円、滑川署運営費14,320,481円、上市署運営費14,292,841円、舟橋分遣所運営費2,906,234円、消防本部施設整備費83,392,566円、魚津署施設整備費2,754,000円、滑川署施設整備費2,449,500円、起債償還元金122,196,000円、起債償還利子4,852,472円、一時借入金利子13,150円である。

支出状況は、次の表のとおりである

支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比	執行率		
			(%)	(%)		
1. 議会費	913,000	767,674	0.1%	84.1%	0	145,326
2. 総務費	344,000	186,006	0.0%	54.1%	0	157,994
3. 消防費	1,148,794,000	1,109,798,618	89.6%	96.6%	0	38,995,382
4. 公債費	127,293,000	127,061,622	10.3%	99.8%	0	231,378
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
計	1,278,344,000	1,237,813,920	100.0%	96.8%	0	40,530,080

ロ 性質別の内訳

義務的経費では、人件費で874,220千円(70.6%)、物件費で209,435千円(16.9%)、維持補修費で2,449千円(0.2%)、扶助費で11,265千円(0.9%)、補助費等で10,629千円(0.9%)、公債費で127,062千円(10.3%)、義務的経費全体では1,235,060千円となり、決算総額の99.8%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で2,754千円となり、決算総額の0.2%を占めている。

性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分		元年度決算額	構成比
1	人件費	874,220	70.6%
2	物件費	209,435	16.9%
3	維持補修費	2,449	0.2%
4	扶助費	11,265	0.9%
5	補助費等	10,629	0.9%
6	公債費	127,062	10.3%
	うち元金	122,196	9.9%
	うち利子	4,866	0.4%
計		1,235,060	99.8%
7	投資的経費	2,754	0.2%
	普通建設事業	2,754	0.2%
	うち単独事業	2,754	0.2%
歳出合計		1,237,814	100.0%

第1款 議会費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元年度	913,000	767,674	0	145,326	84.1%
30年度	913,000	718,673	0	194,327	78.7%

支出済額は767,674円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっている。

不用額は145,326円で、予算額に対する執行率は84.1%となっている。

第2款 総務費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元年度	344,000	186,006	0	157,994	54.1%
30年度	344,000	209,817	0	134,183	61.0%

支出済額は186,006円で、歳出総額に占める割合は全体の0.02%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費137,176円、監査委員費48,830円となっている。

不用額は157,994円で、予算額に対する執行率は54.1%となっている。

第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元年度	1,148,794,000	1,109,798,618	0	38,995,382	96.6%
30年度	1,123,875,000	1,084,045,456	0	39,829,544	96.5%

支出済額は1,109,798,618円で、歳出総額に占める割合は全体の89.6%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費883,406,475円、消防本部運営費84,105,795円、魚津署運営費22,170,726円、滑川署運営費14,320,481円、上市署運営費14,292,841円、舟橋分遣所運営費2,906,234円、消防本部施設整備費83,392,566円、魚津署施設整備費2,754,000円、滑川署施設整備費2,449,500円となっている。

不用額は38,995,382円で、予算額に対する執行率は96.6%となっている。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元年度	127,293,000	127,061,622	0	231,378	99.8%
30年度	129,525,000	129,360,071	0	164,929	99.9%

支出済額は127,061,622円で、歳出総額に占める割合は全体の10.3%となっており、支出済額の内訳は、起債償還元金122,196,000円、起債償還利子4,852,472円、一時借入金利子13,150円である。

不用額は231,378円で、予算額に対する執行率は99.8%となっている。

なお、令和2年3月末現在で、起債償還残高は元金で890,358千円となっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
30年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

令和元年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

7 財産管理

(1) 土地について

該当なし

(2) 建物について（令和元年度中の異動なし）

本部通信指令センター 延床面積579.01㎡

上市消防署舟橋分遣所 延床面積273.04㎡

天神山基地局 延床面積 5.85㎡

(3) 物品について（令和元年度中に取得した1件10万円以上）

	区 分	数量
(本部)	事務用机及び椅子	1
	緊急消防援助隊用レインウェア	5
	消防事務連絡車	1
	高機能消防指令センター通信指令装置 部分更新事業	1
(魚津署)	消防用ホース	5
	空気呼吸器	4
(滑川署)	空気呼吸器用ボンベ	3
	消防用ホース	12
(上市署)	鋼管製三連梯子	1
	消防用ホース	4
	空気呼吸器用ボンベ	2
	空気呼吸器	1
(舟橋分遣所)	訓練人形	1

8 意見

全体として、予算の執行はおおむね適正であると認められるが、一部の事業において、予算に対し、支出額が乖離しているものが見受けられる。様々な要因があるとは思いますが、予算を適切に計上し、その事業の目的が最大限に生かされるような執行に努められたい。

なお、契約事務については、引き続き適切な対応を実施されたい。

9 むすび

以上、令和元年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べた。

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等はいずれも関係法令に準拠して作成され、決算内容、予算執行状況についても適正に処理されていた。

また、本部、各署においては、消防広域化のメリットを十分に生かし、一層の経費削減、費用対効果を図り、合理的、効率的な予算執行となるよう努力されたい。

平成25年より消防組合事務が開始され、7年が経過しているが、消防本部や各消防署間の更なる一体感を醸成し、地域社会の安全安心と地域住民の生命と財産を守るべく社会的使命を果たされるよう消防力・救急力の強化に努められたい。